

古瀬間城の由来

古瀬間城は、室町期、徳川の祖となる松平家三代、信光より分かれた長沢松平家、松平弥三郎宗忠が永正3年(1506年)、新城街道を見下ろす標高100mの丘の上に築いたといわれています。城の規模は約3,600㎡で、織田、今川、武田方と対峙する真っ只中で松平一族の西方の要の城であり、当時の山城の遺構をよく残しています。

古瀬間城址公園について

益富地域は、昭和40年代から自動車産業の発展とともに住宅団地が多数造成され、多くの住民を新たに迎えることとなりました。こうした地域環境の変化を踏まえ、新旧住民の心がひとつになった住みよいまちとなるよう、地域が一丸となって「ホタルの飛び交う美しいまちづくり」に取り組んできました。

時を経て、この地で生まれ育った人たちの増加に伴い、ふるさと益富を愛し、誇らしく思える“何か”を求め声が生えてきました。これを受け、昭和57年(1982年)に整備されるも、その後大きな手が入られず老朽化していた「古瀬間城址公園」を地域のシンボルにしようと、「益富地域会議」が地域の皆さんの声を聴きながら平成29年から30年にかけて再整備しました。

地域会議とは

地域会議は、地域の皆さんが思っている課題に耳を傾け、支所(益富地域の場合は高橋支所)とともに住民参加のもと、どう対応するか立案し、解決に向けて取り組む組織です。

アクセス



【所在地】豊田市志賀町城山521番地

■バス利用

〔名鉄豊田市駅から〕

- ・とよたおいでんバス下山・豊田線または名鉄バス九久平線「志賀町」下車徒歩5分
- ・名鉄バス豊田東市内線(古瀬間町経由)「古瀬間小学校前」下車徒歩9分

■車利用

- ・東海環状自動車道「豊田松平IC」から約5分(ただし、現地に駐車場はありません。)

編集・発行：益富地域会議

問合せ先：豊田市役所高橋支所 地域振興担当
〒471-0014 豊田市東山町2-1-1
電話 0565-80-0077

E-mail: takahashi-shisho@city.toyota.aichi.jp

※このパンフレットは「平成30年度地域予算提案事業」により益富地域会議が作成しました。

古瀬間城址公園

こ
せ
ま
じ
ょう
し
こう
えん

みんなで行こまい!

WE
LOVE
とよた



古瀬間城址公園 ここが見どころ!

ぼく、くるみん。
みんな遊びに来てね♪



北 ▲

ここが入口だよ。



4

point

梅林

約50本の梅の木が植えられています。2月の開花時期は紅梅、白梅が公園を彩ります。



1

point

浄願寺

古瀬間城を築城したとされる松平宗忠の位牌が祭られています。お寺と公園と共通の入口です。



5

point

見張り櫓

古文書に基づき昭和57年に再建されました。平成29年には遊歩道とあわせて、再整備しました。



2

point

大平の門

かつての城門「大平の門」があったとされる場所。ここから階段を登って頂上を指します。



6

point

大パノラマ

樹木伐採整備により、見張り櫓からは壮大な景色を望めます。どんな景色かはこの楽しみ。



3

point

遊歩道

益富地域会議が「地域予算提案事業」により階段を舗装し、手すりを設置しました。